

引戸の質量 (kg/1枚)	吊り車 取付け位置	付加機能					最小戸幅 (mm)		引戸の厚さ (mm)
		自動ドア	クローザー (自閉)	マルチソフトクローズユニット	ソフトクローズ	ブレーキ	片側ソフトクローズ	両側ソフトクローズ	
80kg 以下	直付け	—	—	—	○	—	—	900	36mm 以上
50kg 以下	木口	—	—	—	○	—	—	780または865	28mm 以上
50kg 以下	木口	—	—	—	○	—	—	780	28mm 以上
70kg 以下	木口	—	—	—	—	—	—	—	28mm 以上
50kg 以下	木口	—	—	—	○	—	—	780	28~40mm
30kg 以下	木口	—	—	○*	○*	—	—	600	30、33、36 (ソフトクローズ付きは36mm)
30kg 以下	木口	—	—	○*	○*	—	—	600	30、33、36 (ソフトクローズ付きは36mm)
30kgまたは40kg	木口	—	—	—	—	—	—	900 以下	33、36~40
引戸総枚数で 40kg 以下	木口	—	○	—	○	—	—	600~850	33、36~39

※ソフトクローズおよびマルチソフトクローズユニットのあり/なしを選択できます。

ソフトクローズ上部吊り車の特徴

- ソフトクローズ上部吊り車は、『吊り車1個で両側ソフトクローズできるタイプ』と、『吊り車1個で片側のみソフトクローズできるタイプ』の2種類に大きく分かれて、それぞれ特徴があります。

『吊り車1個で両側ソフトクローズできるタイプ』

- メリット** → 『片側のみソフトクローズできるタイプ』を2個使用する場合に比べて、狭い戸幅に対応でき、コストも抑えられます。
- デメリット** → レール内に取付ける戸尻側用トリガーの位置は戸幅によって異なるため、都度計算していただくなくてはなりません。

『吊り車1個で片側のみソフトクローズできるタイプ』

- メリット** → 戸先のみソフトクローズを機能させ、戸尻側は標準の上部吊り車や、ブレーキ付き上部吊り車などにする事ができます。また、戸先・戸尻の両方に使用する場合のトリガー位置は、どちらも所定の位置で良いため、戸幅に応じてトリガー位置を算出する必要がありません。
- デメリット** → 戸先・戸尻の両方に使用した場合、戸幅はソフトクローズ付き吊り車2個分の長さ以上となり、狭い戸幅に対応できない場合があります。

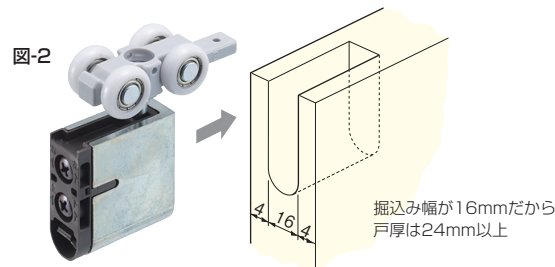
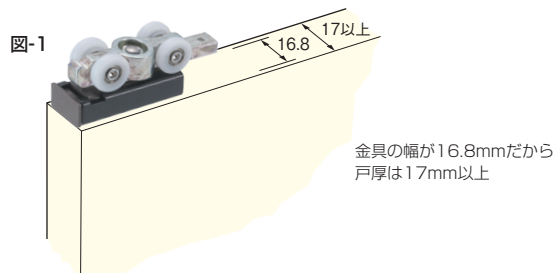
マルチソフトクローズユニットの特徴

- マルチソフトクローズユニットは、様々な納まりに対応できる汎用性の高い商品です。
- メリット** → 枠より約120mm手前から、自動で戸を引込みます (ソフトクローズ上部吊り車の作動距離は約50~90mm)。戸を吊ったままでユニットの着脱が可能なので、上部吊り車ソフトクローズに比べるとメンテナンス性に優れており、戸袋納まりに最適です。ダブルオープン納まりにしたい場合、すべての戸にソフトクローズをつけることができます。
- デメリット** → 上部吊り車用の掘込のほかに、マルチソフトクローズユニットを取付けるための掘込加工が必要となります。

戸厚対応範囲の設定基準について

戸厚対応範囲は、次の条件から設定しています。

- ①金具自体の寸法(図-1)
 - ②取付ねじの長さ寸法
 - ③戸に掘込み加工をして取付ける金具の場合、加工後の板厚残り代が最低何mm必要か(図-2)
- ※弊社は板厚残り代を4mm以上とさせていただく事を条件としています。以上の条件から各金具の対応範囲を設定しています。



開き戸
金具
1

引戸
金具
2

上吊式
引戸金具
3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠
4

移動
間仕切
金具
5

室内用
アルミ
金具
6

折戸
金具
7

取手・
引手
8

スライド
丁番
9

スライド
ワイヤー
バスケット
10

収納・
吊金具
11

その他の
家具金物
12

物干金具・
諸金具
13

設計
施工
ガイド

会社案内